

**授業概要**

図書館員の職務につくことを前提に、コンピュータやネットワークをはじめとする情報通信技術の基礎、図書館での利活用、ならびに現在図書館がおかれている情報化社会についての基礎的な理解を目指して講義します。

テキストを参考にしながら、実際の図書館や身の回りの事象をなるべく取り入れた進行をおこないます。

**授業計画**

第1回	イントロダクション
第2回	コンピュータとネットワーク1 — デジタル情報の基礎 —
第3回	コンピュータとネットワーク2 — コンピュータの概要、仕組、動作 —
第4回	コンピュータとネットワーク3 — ネットワークの概要、LAN、インターネット —
第5回	情報検索1 — データベースの概要と種類、RDB、RDBMS —
第6回	情報検索2 — 検索エンジンの仕組と動作、WWWとの関係、情報の収集範囲 —
第7回	情報倫理1 — 情報倫理の概要、ICTと社会、関連法制、著作権、個人情報 —
第8回	情報倫理2 — マルウェア、情報セキュリティ、ソーシャルエンジニアリング、暗号化 —
第9回	図書館システム1 — 図書館システムの概要とその利用 —
第10回	図書館システム2 — 図書館運営に用いられる機材や設備 —
第11回	デジタル情報資源1 — 資料のデジタル化、図書館からの情報発信 —
第12回	デジタル情報資源2 — WWW、URL、ドメインなど —
第13回	デジタル情報資源3 — デジタルアーカイブ、ネットワークによる協調 —
第14回	実際の図書館にみる情報技術 — 実際の図書館におけるICTの利活用 —
第15回	まとめ — これからの図書館と技術発展 —
第16回	筆記試験

**到達目標**

図書館員の職務につくことを前提に、次のことの実理解を目指します。

- 1) コンピュータやLANなど基本的な情報機器の基礎、2) 図書館業務システムの概要と関連技術、3) インターネットとその図書館サービスでの利用の概要、4) 情報化社会と図書館の関係。

**履修上の注意**

講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。

司書課程科目の中では比較的独立性の高い科目内容ですが、前提となる理解として「図書館概論」履修後の受講が望まれます。

必要に応じて、PC教室やメディアセンターなどの学内施設を利用します。

**予習・復習**

事前にテキストの指定箇所を読んでおいてください。

毎回の講義でだされるアサインメントは、次回までに取り組んでおいてください。

講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

**評価方法**

期末テスト(60%・必須)と課題レポート(20%・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論への積極的参加など)および自由提出のレポート(20%)を加えて評価します。

履修者数が少ない場合、進行および評価方法を代えることがあります。

**テキスト**

(必携) 田窪直規編. 図書館と情報技術:改訂. 樹村房, 2017, 153p..

(参考) 杉本重雄編. 図書館情報技術論. 樹村房, 2014, 208p., (現代図書館情報学シリーズ, 3), ISBN 978-4-88367-203-5、日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013, 284p., ISBN 978-4-621-08774-9.

その他授業中に印刷資料を配布します。